

単元構想図
(第3学年・6月)

単元名 「あらすじカード」を作ろう
教材名 はりねずみと金貨

単元の目標		
<p>〔知識及び技能〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。 (1)ア 	<p>〔思考力、判断力、表現力等〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。 (C(1)イ) 	<p>「学びに向かう力、人間性等」</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

主な言語活動
<p>「あらすじカードを作る」</p> <ul style="list-style-type: none"> 物語の出来事と登場人物の気持ちやその変化を捉え、まとめる。 心に残った叙述と理由を書く。

MLAとの関連		声掛け(例)
SEL	友達にアドバイスする際は良い点と修正点を伝える。 (第8時)	<ul style="list-style-type: none"> 始めに良いところを伝えてからアドバイスをしよう。 相手の目を見て言えるといいね。
協同学習	座席をコの字の形にして、意見を出し合い、考えを共有する。 (第6, 7時)	<ul style="list-style-type: none"> 色々な考えを出し合おう。 〇〇さんの考えを詳しく説明できる人はいますか。
PBIS	<ul style="list-style-type: none"> 相手の目を見て話を聞く。 うなずきながら話を聞く。 (第2～5時) 	<ul style="list-style-type: none"> 相手の目を見て話を聞くことができたね。 うなずきながら聞いているね。

単元の評価規準		
<p>知識・技能</p> <ul style="list-style-type: none"> 言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付いている。 [(1)ア] 	<p>思考・判断・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> 「読むこと」において、登場人物の行動や気持ちなどについて、文章の叙述を基に捉えている。 [C(1)イ] 	<p>主体的に学習に取り組む態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 進んで、登場人物の行動や気持ちなどについて文章の叙述を基に捉え、今までの学習を生かしてまとめようとしている。

単元の段階			
段階	見付ける	つなぐ	深める
内容	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちが分かる言葉を見付ける。 登場人物の気持ちを考える。 <p style="text-align: right;">〔重点〕(第1～5時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> はりねずみの気持ちが最も動いた場面を考える。 物語の始めと終わりの部分を比べて、変わらなかった部分と変わった部分を考える。 <p style="text-align: right;">(第6, 7時)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物の気持ちに着目した「あらすじカード」を作る。 心に残った叙述と、その理由を書く。 <p style="text-align: right;">(第8～10時)</p>

段階	時	目標	主な学習活動	MLAとの関連(目指す児童の姿)	評価規準・評価方法等
見付ける	1	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くことができる。	1 登場人物の気持ちに注目した「あらすじカード」を作るというめあてを知る。(いつ、どこで、誰が、どうした、気持ち) 2 初発の感想を書く。 3 時間や場所を表す言葉に注目して、場面を六つに分ける。		
	2・3・4・5		1 各場面を読み、誰が何をどうしたのかまとめる。 2 登場人物の気持ちが分かる言葉を見付ける。 3 見付けた言葉と気持ちを確認する。〔全体〕 4 はりねずみの気持ちを入れて、各場面を一、二文で表す。	PBIS 〔全体〕 ・相手の目を見て話を聞く。 ・うなずきながら話を聞く。	〔知識・技能〕 ノート 各場面の登場人物の考えたことや思ったことを表す語句を見付けているかの確認
つなぐ	6	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。	1 一場面と六場面を比べ、はりねずみの行動の変化から、はりねずみの気持ちの変化を考える。 2 はりねずみの気持ちが最も動いた場面はどこか考え、選んだ場面と、その理由をノートに書く。 3 選んだ場面について共有する。〔全体〕	協同学習 〔全体〕 ・お互いの顔を見ながら考えを話す。 ・相手の意見を否定しない。	〔思考・判断・表現〕 ノート はりねずみの気持ちの変化を捉えているかの確認

段階	時	目標	主な学習活動	MLAとの関連 (目指す児童の姿)	評価規準・ 評価方法等
つなぐ	7	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えることができる。	1 物語の始めと終わりの場面を比べ、変わったものがあるか考える。 〔ある場合：変わったものを考える。 ない場合：変わっていないものを考える。〕 2 変わったものについて考えを共有する。〔全体〕 3 変わらないものについて考えを共有する。〔全体〕 4 物語の始めと終わりの場面を比べ、変わったものがあるか、自分の考えを改めて書く。	<u>協同学習</u> 〔全体〕 ・お互いの顔を見ながら考えを話す。 ・相手の意見を否定しない。	〔思考・判断・表現 ノート〕 はりねずみの気持ちの変化を叙述を基に捉えているかの確認
	8	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	1 あらすじをまとめるポイントを確認する。 2 物語の出来事と登場人物の気持ちやその変化を考え、ノートにまとめる。 3 ペアで読み、アドバイスし合う。〔ペア〕	<u>SEL</u> 〔ペア〕 ・友達のあらすじのまとめ方について、良いところを伝える。	〔主体的に学習に取り組む態度〕 カード・観察 登場人物の気持ちを取り入れて、あらすじカードを書くか確認
深める	9 ・ 10		1 あらすじカードにまとめる。 〔・物語の出来事と登場人物の気持ちやその変化を考え、まとめる。 ・心に残った叙述と、理由を書く。〕 2 物語の感想を書く。		

単元構想図
(第3学年・9月)

単元名 人物につたえたいことをまとめよう
教材名 サーカスのライオン

単元の目標		
〔知識及び技能〕 ・登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。 (1)オ	〔思考力、判断力、表現力等〕 ・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。 (C1)エ	「学びに向かう力、人間性等」 ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

主な言語活動 「中心人物に手紙を書く」 ・中心人物の性格を一言で表す。 ・中心人物の行動や気持ちなどについて考えたことを基に、中心人物にあてた手紙を書く。	MLAとの関連		声掛け(例)
	SEL	・相づちを打ちながら友達の話聞く。 ・分からない時や、詳しく知りたい時は質問する。 (第2～4, 6時)	・「うんうん、なるほど、へえ、すごいね」など、相づちを打ちながら聞こう。 ・どうして(どこから)そう思ったか質問してみよう。
	協同学習	・4人でグループを作り、課題に対して意見を出し合い、グループとしての考えを説明する。 (第8時)	・友達が伝えたいことは何か考えながら聞こう。 ・色々な考えを出し合おう。
	ピア・サポート	・「ピア・タイム(考えを交流する時間)」で考え付かない友達に進んで声を掛ける。 (第5, 7時)	・自分から進んで友達に声を掛けよう。
	PBIS	・友達の考えの良いところを伝える。 (第1, 9, 10時)	・頑張ったところや分かりやすいところなどを、たくさん見つけて伝えることができたね。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使っている。 [(1)オ]	・「読むこと」において、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 [C(1)エ]	・粘り強く、中心人物の気持ちの変化を捉え、今までの学習を生かして、伝えたいことをまとめようとしている。

単元の段階			
段階	見付ける	つなぐ	深める
内容	・じんざの気持ちが分かる言葉を見付ける。 ・じんざの気持ちを考える。 (第1～4, 6時)	・じんざの気持ちの変化について、叙述を基に考える。 ・じんざの願いはかなったかどうか考える。 [重点] (第5, 7時)	・物語の印象(明るい、暗いなど)について考え、共有する。 ・中心人物にあてた手紙を書く。 (第8～10時)

段階	時	目標	主な学習活動	MLAとの関連(目指す児童の姿)	評価規準・評価方法等
見付ける	1	登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。	1 物語を読み、中心人物にあてた手紙を書くというめあてを知る。 2 場面を五つに分ける。 3 主な登場人物を確認し、中心人物は誰か考える。 4 初発の感想を書き、交流する。[ペア]	PBIS [ペア] ・友達の感想の良いところを伝える。	[知識・技能] ノート 各場面の中心人物の気持ちを表す語句に着目し、文章の中で使っているかの確認
	2		1 一場面から、じんざの気持ちが分かる言葉を見付ける。 2 見付けた言葉と気持ちを確認する。[全体] 3 火の輪をくぐった後のじんざの思いをせりふとして考える。[ペア] 4 じんざの願いは何か考える。	SEL [ペア・全体] ・相づちを打ちながら聞く。 ・相手に質問する。	
	3		1 二場面から、じんざの気持ちが分かる言葉を見付ける。 2 見付けた言葉と気持ちを確認する。[全体] 3 男の子を見送った後のじんざの思いをせりふとして考える。[ペア]		

段階	時	目標	主な学習活動	MLAとの関連 (目指す児童の姿)	評価規準・ 評価方法等
見付ける	4	登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。	1 三場面から、じんごの気持ちがかかる言葉を見付ける。 2 見付けた言葉と気持ちを確認する。[全体] 3 男の子が帰った後のじんごの思いをせりふとして考える。[ペア]	SEL [ペア・全体] ・相づちを打ちながら聞く。 ・相手に質問する。	[知識・技能] ノート 三場面の中心人物の気持ちを表す語句に着目し、文章の中で使っているかの確認
つなぐ	5	登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。	1 最初のじんごと、男の子と出会った後のじんごでは、気持ちがどのように変化したのか確認する。 2 二場面から三場面の出来事のうち、どの出来事がじんごの心を大きく変化させたか考える。 3 友達と考えを伝え合う。(ピア・タイム) 4 選んだ出来事と理由を共有する。[全体] 5 改めて【考えのもと】を明らかにして、自分の考えをまとめる。	ピア・サポート [ピア・タイム] ・友達に進んで声を掛ける。	[思考・判断・表現] ノート 中心人物の気持ちの変化を叙述を基に考えているかの確認
見付ける	6	登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、文章の中で使うことができる。	1 四場面から、じんごの気持ちがかかる言葉を見付ける。 2 見付けた言葉と気持ちを確認する。[全体] 3 「ウオー」の後に続くせりふを考える。[ペア]	SEL [ペア・全体] ・相づちを打ちながら聞く。 ・相手に質問する。	[知識・技能] ノート 四場面の中心人物の気持ちを表す語句に着目し、文章の中で使っているかの確認
つなぐ	7	登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像することができる。	1 五場面のおじさんと人々の気持ちを考える。 2 一場面と四場面を比べ、最初のじんごの願いがかなったかどうか考える。 3 友達と考えを伝え合う。(ピア・タイム) 4 考えを全体で共有する。[全体] 5 改めて自分の考えをまとめる。	ピア・サポート [ピア・タイム] ・友達に進んで声を掛ける。	[思考・判断・表現] ノート 中心人物の気持ちの変化を叙述を基に考えているかの確認
深める	8		1 物語の印象(明るい、暗い等)を考え、ノートに書く。 2 グループで話し合う。[グループ] 3 考えを全体で共有する。[全体] 4 改めて、根拠となる叙述【考えのもと】を明らかにして、自分の考えをまとめる。	協同学習 [グループ] ・役割を果たす。 ・全員が参加できるように声を掛ける。	
	9	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	1 これまで読んできたことを基に、じんごへあてた手紙をノートに書く。 2 ノートを見合い、友達の良いところを伝える。[ペア] 3 手紙を見直す。	PBIS [ペア・グループ] ・友達の手紙の良いところを伝える。	[主体的に学習に取り組む態度] ノート・手紙 中心人物の気持ちの変化を捉え、伝えたいことをまとめようとしているかの確認
	10		1 じんごへの手紙を書く。 2 出来上がった手紙を見合い、友達の良いところを伝える。[グループ] 3 物語の感想を書く。		

単元構想図
(第3学年・11月)

単元名 想ぞうしたことをつたえ合おう
教材名 モチモチの木

単元の目標		
〔知識及び技能〕 ・登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。〔(1)オ〕	〔思考力、判断力、表現力等〕 ・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。〔C(1)オ〕	「学びに向かう力、人間性等」 ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。

主な言語活動 「人物紹介カードを作り、感想を伝え合う」 ・文章を読んで理解したことを基に、中心人物の性格について「人物紹介カード」にまとめる。 ・「人物紹介カード」についての感想を伝え合う。	MLAとの関連		声掛け(例)
	SEL	<ul style="list-style-type: none"> 相づちを打ちながら友達の話聞く。 相手の目を見て話を聞く。 友達の良いところや頑張ったところを伝える。(第1, 12時) 	<ul style="list-style-type: none"> 「うんうん、なるほど、へえ、すごいね」など、相づちを打ちながら聞こう。 目を見て話を聞こう。 友達の良いところをたくさん伝えられるといいね。
	協同学習	<ul style="list-style-type: none"> 4人でグループを作り、課題に対して意見を出し合い、グループとしての考えを説明する。(第9, 10時) 	<ul style="list-style-type: none"> 友達が伝えたいことは何か考えながら聞こう。 色々な考えを出し合おう。
	ピア・サポート	<ul style="list-style-type: none"> 「ピア・タイム(考えを交流する時間)」で考え付かない友達に進んで声を掛ける。(第5, 8時) 	<ul style="list-style-type: none"> 自分から進んで友達に声を掛けよう。
PBIS	<ul style="list-style-type: none"> 話を否定しないで聞く。 発表者は最後まではっきりと話す。(第2～4, 6, 7時) 	<ul style="list-style-type: none"> 否定しないで聞くことが大切だね。 最後まで話すことができたね。 	

単元の評価規準		
知識・技能 ・登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。〔(1)オ〕	思考・判断・表現 ・「読むこと」において、文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。〔C(1)オ〕	主体的に学習に取り組む態度 ・粘り強く、登場人物の気持ちや性格について想像し、今までの学習を生かして文章にまとめ、自分の考えを伝えようとしている。

単元の段階			
段階	見付ける	つなぐ	深める
内容	<ul style="list-style-type: none"> 登場人物を見付ける。 豆太の気持ちが分かる言葉を見付ける。 豆太の気持ちを考える。(第1～4, 6, 7時) 	<ul style="list-style-type: none"> 語り手が述べる「おくびょう」について場面を結び付けて考える。 物語の始めと終わりを比べ、豆太に変化はあったかどうか考える。(第5, 8時) 	<ul style="list-style-type: none"> 豆太の性格について考え共有する。 豆太にとってモチモチの木はどのような存在か考え、共有する。 「人物紹介カード」を書き、感想を伝え合う。〔重点〕(第9～12時)

段階	時	目標	主な学習活動	MLAとの関連(目指す児童の姿)	評価規準・評価方法等
見付ける	1	登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	1 物語を読み、「人物紹介カード」を書くというめあてを知る。 2 登場人物を確認し、「語り手」について知る。 3 あらすじの大体をつかむ。 4 初発の感想を書き、交流する。〔ペア〕	SEL [ペア] ・友達の感想の良いところを伝える。 ・相づちを打ちながら聞く。	[知識・技能] ノート 各場面の登場人物の気持ちや性格を表す語句に着目し、語彙を豊かにしているかの確認
	2		1 一場面を読み、豆太について説明している言葉を見付ける。 2 じさまとおとうについて説明している言葉を見付ける。 3 モチモチの木について説明している言葉を見付ける。 4 見付けた言葉をペアで見合う。〔ペア〕 5 人物紹介図を書き、物語の設定を確認する。〔全体〕	PBIS [ペア・全体] ・自分の考えを最後までしっかりと話す。 ・発表をした人に拍手をする。	
	3		1 二場面から、豆太の気持ちが分かる言葉を見付ける。 2 見付けた言葉と気持ちを確認し、昼と夜の豆太の違いを考える。〔全体〕 3 豆太が「だめ」と感じているものと、その理由を考える。		

段階	時	目標	主な学習活動	MLAとの関連 (目指す児童の姿)	評価規準・ 評価方法等
見付ける	4	登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	1 三場面から、豆太の気持ちが分かる言葉を見付ける。 2 見付けた言葉と気持ちを確認する。[全体] 3 豆太が「だめ」と感じているものと、その理由を考える。	PBIS [全体] ・自分の考えを最後までしっかりと話す。 ・発表をした人に拍手をする。	[知識・技能] ノート 三場面の登場人物の気持ちや性格を表す語句に着目し、語彙を豊かにしているかの確認
	5	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	1 一場面から三場面を読み、語り手が言う、豆太の「おくびょう」について考える。 2 友達と考えを伝え合う。(ピア・タイム) 3 考えを全体で共有する。[全体] 4 改めて根拠となる叙述【考えのもと】を明らかにして、自分の考えをまとめる。	ピア・サポート [ピア・タイム] ・友達に進んで声を掛ける。	[思考・判断・表現] ノート 複数の叙述を基に、中心人物の性格を考えているかの確認
見付ける	6	登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	1 四場面から、豆太の気持ちが分かる言葉を見付ける。 2 見付けた言葉と気持ちを確認する。[全体] 3 豆太が「こわい」と感じているものと、その理由を考える。	PBIS [全体] ・自分の考えを最後までしっかりと話す。 ・発表をした人に拍手をする。	[知識・技能] ノート 各場面の登場人物の気持ちや性格を表す語句に着目し、語彙を豊かにしているかの確認
	7	1 五場面の豆太の行動から気持ちを考える。 2 気持ちを確認する。[全体] 3 じさまの言う「やさしさ」とは何か考える。 4 考えを全体で共有する。[全体]			
つなぐ	8	文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。	1 物語の始めと終わりを比べ、豆太に変化があったかどうか考える。 〔ある場合：変わったものを考える。 ない場合：変わっていないものを考える。〕 2 友達と考えを伝え合う。(ピア・タイム) 3 考えを全体で共有する。[全体] 4 改めて自分の考えをまとめる。	ピア・サポート [ピア・タイム] ・友達に進んで声を掛ける。	[思考・判断・表現] ノート 文章を読んで理解したことを基に、中心人物について考え、まとめているかの確認
深める	9		1 豆太はどんな性格の子供か考える。 2 グループで話し合い、ワークシートに考えをまとめる。[グループ] 3 考えを全体で共有する。[全体] 4 改めて、根拠となる叙述【考えのもと】を明らかにして、自分の考えをまとめる。	協同学習 [グループ] ・役割を果たす。 ・全員が参加できるように声を掛ける。	[主体的に学習に取り組む態度] カード・観察 登場人物の性格について具体的に想像し、自分の感想や考えを記述しているかの確認
	10	1 じさまと医者様にとってモチモチの木はどのように見えているか考える。 2 豆太にとってモチモチの木はどのような存在か考える。 3 グループで考えを出し合う。[グループ] 4 考えを全体で共有する。[全体] 5 改めて自分の考えをまとめる。			
	11	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	1 「人物紹介カード」の豆太の性格について、叙述を基にまとめる。 2 自分と豆太の共通点と相違点について考え、まとめる。		
	12		1 「人物紹介カード」を読み合い、感想を伝え合う。[全体] 2 カードを振り返り、自分の文章の良いところを考える。 3 物語の感想を書き、読み合う。[グループ]	SEL [全体] ・友達のカードの良いところを伝える。 ・相づちを打ちながら聞く。	

単元構想図
(第3学年・2月)

単元名 物語のしかけをさがそう
教材名 ゆうすげ村の小さな旅館－ウサギのダイコン

単元の目標		
〔知識及び技能〕 ・登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。 (1)オ)	〔思考力、判断力、表現力等〕 ・文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などの違いがあることに気付くことができる。 (C(1)カ)	「学びに向かう力、人間性等」 ・言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする。

主な言語活動	MLAとの関連		声掛け(例)
	SEL	・相づちを打ちながら友達の話聞く。 ・相手の目を見て話を聞く。 (第1, 8時)	・「うんうん、なるほど、へえ、すごいね」など、相づちを打ちながら聞こう。 ・相手の目を見て話を聞こう。
	協同学習	・4人でグループを作り、課題に対して意見を出し合い、グループとしての考えを説明する。 (第9時)	・友達が伝えたいことは何か考えながら聞こう。 ・色々な考えを出し合おう。
	PBIS	・話を否定しないで聞く。 ・発表をした人に拍手をする。 ・発表者は最後まではっきりと話す。 (第2～7, 10～12時)	・否定しないで聞くことが大切だね。 ・進んで拍手をすることができたね。 ・最後まで話すことができたね。

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにしている。 [(1)オ]	・「読むこと」において、文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などの違いがあることに気付いている。 [C(1)カ]	・粘り強く、登場人物の行動や気持ちなどについて考え、学習課題に沿って、自分の考えをまとめようとしている。

単元の段階			
段階	見付ける	つなぐ	深める
内容	・美月の様子を表す言葉を見付ける。 ・つぼみの気持ちを考える。 (第1～7時)	・美月の正体が分かる仕掛けの言葉を考える。 ・つぼみが美月の正体を疑い始めた場面を考える。 (第8, 9時)	・「クマの風船」を読んで、仕掛けを考える。 ・二つの物語から1つを選び、見所についてカードにまとめる。お互いのカードを見合い、考え方や感じ方の違いに気付く。 [重点] (第10～12時)

段階	時	目標	主な学習活動	MLAとの関連 (目指す児童の姿)	評価規準・ 評価方法等
見 付 け る	1	登場人物の様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、語彙を豊かにすることができる。	1 二つの物語を読み、見所をカードにまとめて友達と読み合うというめあてを知る。 2 初発の感想を書き、交流する。[ペア] 3 登場人物と美月の正体を確認する。 4 時を表す言葉に注目して場面を分ける。	SEL [ペア] ・相づちを打ちながら聞く。 ・目を見て聞く。	[知識・技能] ノート 各場面の登場人物の様子や行動、気持ちを表す語句に着目し、語彙を豊かにしているかの確認
	2		1 各場面を読み、内容を捉える。 2 美月の様子が分かる言葉を見付ける。 3 見付けた言葉を確認する。[全体] 4 つぼみの気持ちを考える。[全体]	PBIS [全体] ・自分の考えを最後まではっきりと話す。 ・発表をした人に拍手をする。	
	3				
	4				
	5				
	6				
	7				

段階	時	目標	主な学習活動	MLAとの関連 (目指す児童の姿)	評価規準・ 評価方法等
つなぐ	8	文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などの違いがあることに気付くことができる。	1 美月の正体が分かる仕掛けの言葉を考える。 2 友達と考えを伝え合う。[ペア] 3 全体で考えを共有する。[全体]	SEL [ペア・全体] ・相づちを打ちながら聞く。 ・目を見て聞く。	[思考・判断・表現] ノート 文章を読んで考えたことを共有し、友達と自分の考えとの違いに気付いているかの確認
	9		1 つぼみは、どの場面で美月をうさぎだと疑い始めたか考える。 2 グループで話し合う。[グループ] 3 全体で考えを共有する。[全体] 4 改めて根拠となる叙述【考えのもと】を明らかにして、自分の考えをまとめる。 5 物語の感想を書く。	協同学習 [グループ] ・役割を果たす。 ・全員が参加できるように声を掛ける。	
深める	10		1 「クマの風船」を読み、登場人物の正体と仕掛けの言葉をノートに書く。 2 友達と考えを伝え合う。[ペア] 3 全体で考えを共有する。[全体] 4 友達の考えを聞いて感じたことを書く。	PBIS [全体・グループ] ・自分の考えを最後までしっかりと話す。 ・発表をした人に拍手をする。	[主体的に学習に取り組む態度] 観察・カード 物語の見所をカードにまとめようとしているかの確認
	11		1 「ゆうすげ村の小さな旅館」と「クマの風船」のつながりを考える。 2 二つの物語の相違点を考え、ノートに書く。 3 ノートを見合い、自分と同じ考えを探す。 [全体] 4 全体で考えを共有する。[全体] 5 友達の考えを聞いてなるほどと思ったことを書く。	SEL [ペア] ・相づちを打ちながら聞く。 ・メモしながら聞く。	
	12	言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。	1 二つのうち、印象に残った物語を選ぶ。 2 物語の見所として、面白い、なるほどと思ったことなど、心に残ったところを紹介カードに書く。 3 同じ物語、違う物語を選んだ友達とカードを読み合う。[グループ] 4 友達のカードを読み、考えたことや感じたことをノートに書く。		

小学校第3学年国語科年間指導計画の一部「C読むこと」文学的な文章教材

		No	1	2	3	4	5		
第3学年		単元名	物語を音読しよう	「あらすじカード」を作ろう	人物につたえたいことをまともめよう	想ぞうしたことをつたえ合おう	物語のしかけをさがそう		
		指導事項・言語活動例							
		授業時数	8	10	10	12	12		
〔知識及び技能〕	(1)	ア	言葉には、考えたことや思ったことを表す働きがあることに気付くこと。		○				
		イ	相手を見て話したり聞いたりするとともに、言葉の抑揚や強弱、間の取り方などに注意して話すこと。						
		ウ	漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方を理解して文や文章の中で使うとともに、句読点を適切に打つこと。また、第3学年においては、日常使われている簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読み、ローマ字で書くこと。						
		エ	第3学年及び第4学年の各学年においては、学年別漢字配当表の当該学年までに配当されている漢字を読むこと。また、当該学年の前の学年までに配当されている漢字を書き、文や文章の中で使うとともに、当該学年に配当されている漢字を漸次書き、文や文章の中で使うこと。						
		オ	様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増し、話や文章の中で使うとともに、言葉には性質や役割による語句のまとまりがあることを理解し、語彙を豊かにすること。			○	○	○	
		カ	主語と述語との関係、修飾と被修飾との関係、指示する語句と接続する語句の役割、段落の役割について理解すること。						
		キ	丁寧な言葉を使うとともに、敬体と常体との違いに注意しながら書くこと。						
		ク	文章全体の構成や内容の大体を意識しながら音読すること。	○					
	(2)	ア	考えとそれを支える理由や事例、全体と中心など情報と情報との関係について理解すること。						
		イ	比較や分類の仕方、必要な語句などの書き留め方、引用の仕方や出典の示し方、辞書や事典の使い方を理解し使うこと。						
	(3)	ア	易しい文語調の短歌や俳句を音読したり暗唱したりするなどして、言葉の響きやリズムに親しむこと。						
		イ	長い間使われてきたことわざや慣用句、故事成語などの意味を知り、使うこと。						
		ウ	漢字が、へんやつくりなどから構成されていることについて理解すること。						
		エ		書写に関する次の事項を理解し使うこと。					
				(ア)文字の組み立て方を理解し、形を整えて書くこと。					
				(イ)漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くこと。					
	オ	(ウ)毛筆を使用して点画の書き方への理解を深め、筆圧などに注意して書くこと。							
	〔思考力、判断力、表現力等〕	(1)	ア	段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについて、叙述を基に捉えること。					
			イ	登場人物の行動や気持ちなどについて、叙述を基に捉えること。	◎	◎	○	○	
			ウ	目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約すること。					
			エ	登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わり結び付けて具体的に想像すること。	○		◎	○	
オ			文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつこと。				◎		
カ			文章を読んで感じたことや考えたことを共有し、一人一人の感じ方などの違いがあることに気付くこと。					◎	
言語活動例	(2)	ア	記録や報告などの文章を読み、文章の一部を引用して、分かったことや考えたことを説明したり、意見を述べたりする活動。						
		イ	詩や物語などを読み、内容を説明したり、考えたことなどを伝え合ったりする活動。	○	○	○	○		
		ウ	学校図書館などを利用し、事典や図鑑などから情報を得て、分かったことなどをまとめて説明する活動。						